

えのもとだより

医療法人
榎本医院
Medical Corporation Enomoto Clinic



院長 榎本 泰三

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

いつも『えのもとだより』を御愛読頂きまして、ありがとうございます。

当院は「胃腸に強い診療所」として多くの患者様の診療をさせて頂いております。

上部・下部消化管検査を積極的に行っておりますが、その中でも大腸内視鏡検査は年間 550 例以上の件数をこなし、昨年 5 月には検査開始当初から 10,000 例を超えました。当院を信頼して検査を受けて下さる患者様に深く感謝申し上げます。今後も大腸 CT（仮想大腸内視鏡）検査同様、早期がん発見に努めて参ります。また胃がん検診は従来の胃透視に加え、胃内視鏡検査も可能となり、件数は増加しております。

現在の医療は病気を治すことだけではなく、健康診断やがん検診などにより、早期発見・早期治療を目的とした予防医学に重点をおいております。当院では特定健診や生活習慣病予防健診・企業健診などにも力を入れており、このような健診（検診）から病気が見つかり、治療されている患者様も見受けられます。症状のないうちに健診（検診）を受けられることをお勧め致します。

昨年 6 月に「TAKEDA Primary care Web Seminar」で講演し、「実地医家における消化器診療の実際」という演題で多くの先生方に当院の紹介させて頂きました。

また 12 月には葛公民館にて「明治 150 年記念講演会」で名誉院長が「幕末を生きた榎本住の足跡とその後」について講演し、数多くの方々に聴いて頂きました。当院の歴史を語る上で欠かせない人物であります。現在の榎本医院を理解して頂くいい機会になったと思います。今後も最新の医療を提供しつつ、「患者第一主義」を遵守し、日々努力していく所存です。年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



明治 150 年記念講演会



第 47 回法隆寺マラソン

名誉院長 榎本泰久

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの事と、心からお慶び申し上げます。

平成30年5月より内視鏡による、胃がん検診が始まりました。当院では昨年1年間で6例の早期胃がんが見つかりました。私も一昨年早期胃がん罹患し内視鏡的胃粘膜剥離術(ESD)を受け、元気に過ごしております。早期発見・早期治療がいかに大切であるかを痛感いたしました。今後も健康の許す限り、積極的に勉強会に出席して新しい知識を吸収し、患者さんのお役に立ちたいと思います。

本年が皆様方にとりまして、より良い一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。

院内勉強会(あすなる会)

2月	亜鉛欠乏症について	メディセオ
2月	アレルギー性鼻炎	田辺三菱製薬
3月	平成30年診療報酬改定について	西山
4月	個人情報について	MSD
5月	誤嚥性肺炎	武田薬品工業
6月	実地医家における消化器疾患診療の実際	院長
6月	糖尿病と配合剤について	第一三共
7月	認知症について	小野薬品
8月	腸内細菌の話題とビオフェルミンについて	ビオフェルミン製薬
9月	インフルエンザについて	塩野義製薬
10月	高脂血症と最近の話題	興和創薬
11月	糖尿病とGLP-1	大日本住友製薬
12月	衛生管理について	第一三共

当院は消防法令により、特定防火対象物のため、消防計画に基づき年2回消火訓練及び避難訓練を実施しています。

